

対象年度		平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		農業振興事業						予算事業名		農業振興事業費			
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	農業振興地域の整備に関する法律			
				06	01	03	11	経常経費					
総合計画体系		3歴史と自然を育む活力あるまちづくり(産業)						事業の区分		主要事業			
		3-1元気あふれる農業の振興(農業)											
		①活力ある産地の育成						担当課係等		農政課			
		4農業生産集団の育成											
事業期間		継続(年度～年度)											
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】					
・地域の担い手となる農業者を確保・育成・支援し、持続的で発展的な地域農業を目指す。 ・長期的に農業の振興を図るべき土地を明らかにし、土地の有効利用と農業の健全な発展を図る。								地域農業の持続的な発展を支援するため、農業者及び農業生産振興を目的とした農業団体に対する支援が必要であったため。					
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】					
・農業者及び農業生産振興を目的とした農業者団体等に対し、補助金を交付する。 ・新規就農者に対し、国県の施策(補助金等)を活用しながら支援する。 ・結城市の農業を担う結城市農村青少年クラブに業務委託し、農業祭(農業振興共進会)を開催する。 ・茨城県が定める茨城県農業振興地域整備基本方針に沿って、結城農業振興地域整備計画を見直す。(平成31年度、平成32年度)								農業者及び農業者で構成された団体					
								【事業をとりまく環境の変化】					
								農業従事者の高齢化、後継者不足から農業従事者が減少傾向にあり、地域の担い手となる農業者の積極的な確保・育成に取り組む必要がある。 また、農地面積の減少や耕作放棄地の増加により、食料供給力の低下が懸念されているため、優良農地の確保、保全に取り組む必要がある。					
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】					
・農業者及び農業生産振興を目的とした農業者団体等に対し、補助金を交付する。 ・新規就農者に対する支援を行う。 ・結城市農村青少年クラブに農業祭(農業振興共進会)を委託し開催する。 ・結城農業振興地域計画を見直す。				・農業者及び農業生産振興を目的とした農業者団体等に対し、補助金を交付する。 ・新規就農者に対する支援を行う。 ・結城市農村青少年クラブに農業祭(農業振興共進会)を委託し開催する。 ・結城農業振興地域整備計画を見直す。				・農業者及び農業生産振興を目的とした農業者団体等に対し、補助金を交付する。 ・新規就農者に対する支援を行う。 ・結城市農村青少年クラブに農業祭(農業振興共進会)を委託し開催する。					
■事業費													
				H29年度		H30年度							
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0						
	県		支	出	金	3,768	1,506						
	地		方		債	0	0						
	そ		の		他	0	0						
	一		般	財	源	6,080	6,080						
歳入計(千円)				9,848		7,586							
歳 出 内 訳	節(番号+名称)			金額(千円)		金額(千円)							
	08	報償費		18		6							
	13	委託料		350		350							
	19	負担金補助及び交付金		9,480		7,230							
歳出計(千円)(A)				9,848		7,586							
伸び率(%)						-22.96							
備 考	総合計画 95ページ 予算書 116ページ												

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	補助事業を実施した団体等の数	団体	目標	10.00	11.00	11.00
			実績	12.00	0.00	0.00
	農業祭に向けた打合せ回数	回	目標	8.00	10.00	10.00
			実績	10.00	0.00	0.00
成果 指標	助成団体における青年農業者・女性農業者の数	人	目標	89.00	93.00	93.00
			実績	93.00	0.00	0.00
	農業祭来客数	人	目標	500.00	600.00	600.00
			実績	500.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	担い手農業者の確保や後継者不足を解消し、地域の農業振興を図らなければならない。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	地域農業の振興を図るため、行政が行うことが適当である。
	手段の妥当性	A 妥当である	農業者団体、農業者を行政が補助する形である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	組織の活動を支援するものであり、改善の余地はない。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	対象が組織のため。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	行政や関係機関と協力した活動を行い、事業に対し意欲的である。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	計画通り実施できている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
地域農業の活性化に向け、青年農業者や女性農業者への支援が重要である。また、品質の良い米を生産するため、稲への農薬の一斉散布や良質な種子の生産の支援が必要である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
地域農業の維持発展を図るため、新規に就農した者、青年農業者、女性農業者が活躍できるように支援する必要がある。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
☒ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 地域農業の維持発展に向け、青年農業者や女性農業者の確保・育成に繋がる支援の強化が必要である。 また、適正な結城農業振興地域整備計画を推進するため、見直しが必要である。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。	